

## 平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ケーヨー

コード番号 8168 URL <http://www.keiyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 醍醐 茂夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長 (氏名) 実川 浩司

TEL 043-255-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日

平成24年11月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	94,159	△5.8	2,282	△33.3	2,743	△29.2	1,183	△35.3
24年2月期第2四半期	99,987	6.3	3,423	61.7	3,874	54.7	1,830	137.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	22.45	—
24年2月期第2四半期	34.29	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年2月期第2四半期	94,421		35,423		37.5
24年2月期	94,826		35,572		37.5

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 35,423百万円 24年2月期 35,572百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	6.25	—	6.25	12.50
25年2月期	—	6.25			
25年2月期(予想)			—	6.25	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,300	△2.6	4,300	△15.9	5,100	△14.4	2,200	6.2	41.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	59,476,284 株	24年2月期	59,476,284 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	6,899,516 株	24年2月期	6,098,990 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	52,724,793 株	24年2月期2Q	53,378,367 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成24年3月1日～平成24年8月31日)におけるわが国経済は、欧州債務危機による金融不安や円高等の影響により、景気の先行きについて不透明な状況となっております。小売業界におきましても、原発問題や電力不足等による消費者の需要の大きな変化や、社会保障問題等の社会不安の増大による個人消費の低迷等も見られ、企業間の価格や品揃え競争もより一層激化する中、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

そうした中、当社におきましては、創業60周年を迎え、記念セールや記念キャンペーンの実施、テレビCMのリニューアル等販売促進の強化を進めるとともに、商品開発の推進や地域特性への対応強化等に取り組んでまいりました。また、「ふだんの暮らし総合店」づくりをさらに深化させ、便利な買物と安さの提供、品揃え枠の拡大にも努めてまいりました。

販売面では、テレビCMにより当社開発商品「ドイツオリジナル小輪ペチュニア」や「ドイツオリジナルひんやり肌着」等を積極的に展開してきたほか、節電需要に合わせて「電考節家(でんこうせっか)」をキーワードに節電用品の訴求を強化してきた結果、冷感肌着や冷感寝具、すだれ、よしず等が好調に推移しました。一方、前年の震災需要や地デジ化特需の反動に加えて、ゴールデンウィーク以降の天候不順や本格的な暑さの到来の遅れ等の影響により、レジャー・行楽用品や猛暑対策用品等が低調となりました。

店舗設備では、節電や環境への配慮といたしまして、LED照明の導入を積極的に行い、導入店舗数は当第2四半期会計期間末で累計118店舗となりました。

販売拠点の強化につきましては、3月に木曾川店(愛知県一宮市)、7月に信州山形店(長野県東筑摩郡)の計2店舗を出店したほか、3店舗の全面改装を実施いたしました。一方で2店舗の閉店を行いビルド&スクラップを推進してまいりました。

こうした取り組みの結果、当第2四半期累計期間における売上高は、941億59百万円(前年同四半期比5.8%減)、営業利益は22億82百万円(同33.3%減)、経常利益は27億43百万円(同29.2%減)、四半期純利益は11億83百万円(同35.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は944億21百万円となり、前事業年度末に比較し4億4百万円減少いたしました。主な要因は投資有価証券8億38百万円、建物5億87百万円の減少と、現金及び預金7億5百万円、商品5億7百万円の増加などによるものです。

負債合計は589億97百万円となり、前事業年度末に比較し2億56百万円減少いたしました。主な要因は長期借入金17億82百万円、短期借入金16億61百万円の減少と、支払手形及び買掛金25億16百万円の増加などによるものです。

純資産合計は354億23百万円となり、前事業年度末に比較し1億48百万円減少いたしました。主な要因は自己株式の取得4億21百万円、剰余金の配当3億33百万円、その他有価証券評価差額金4億43百万円の減少と、四半期純利益11億83百万円の計上などによるものです。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は前事業年度末に比べ7億5百万円増加し、24億47百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益21億24百万円に仕入債務の増加額25億16百万円、減価償却費7億5百万円を加算し、たな卸資産の増加額5億7百万円、法人税等の支払額9億93百万円を減算するなどして全体では47億15百万円の収入(前年同四半期は96億98百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、敷金及び保証金の回収による収入6億8百万円、投資有価証券の売却による収入1億89百万円と一方、有形固定資産の取得による支出5億7百万円などにより1億73百万円の収入(前年同四半期は5百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額16億61百万円、長期借入金の返済による支出13億72百万円、自己株式の取得による支出4億21百万円などにより41億83百万円の支出(前年同四半期は104億41百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年4月3日に公表いたしました平成25年2月期の通期業績予想につきましては修正を行っております。詳細につきましては、平成24年9月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,741	2,447
受取手形及び売掛金	804	978
商品	32,231	32,738
その他	4,689	4,821
流動資産合計	39,467	40,985
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,932	23,345
土地	11,922	11,832
その他	12,542	12,591
減価償却累計額	△23,933	△24,005
有形固定資産合計	24,463	23,763
無形固定資産		
投資その他の資産	2,136	2,021
投資有価証券		
投資有価証券	7,787	6,949
差入保証金	15,485	14,987
その他	6,135	6,337
貸倒引当金	△562	△537
投資損失引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	28,759	27,649
固定資産合計	55,359	53,435
資産合計	94,826	94,421

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,204	19,720
短期借入金	4,693	3,032
1年内償還予定の社債	550	550
1年内返済予定の長期借入金	2,989	3,399
未払法人税等	1,090	1,292
資産除去債務	0	0
その他	4,847	5,020
流動負債合計	31,375	33,015
固定負債		
社債	5,100	4,825
長期借入金	18,123	16,341
退職給付引当金	2,551	2,713
役員退職慰労引当金	7	7
資産除去債務	450	456
その他	1,646	1,638
固定負債合計	27,878	25,982
負債合計	59,253	58,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,948	14,948
資本剰余金	12,595	12,595
利益剰余金	10,886	11,736
自己株式	△3,573	△3,994
株主資本合計	34,856	35,285
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	598	155
繰延ヘッジ損益	117	△16
評価・換算差額等合計	715	138
純資産合計	35,572	35,423
負債純資産合計	94,826	94,421

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	99,987	94,159
売上原価	71,635	68,174
売上総利益	28,351	25,985
販売費及び一般管理費	24,928	23,703
営業利益	3,423	2,282
営業外収益		
受取利息	104	91
受取配当金	125	135
受取賃貸料	620	709
その他	375	343
営業外収益合計	1,226	1,279
営業外費用		
支払利息	241	202
賃貸収入原価	528	608
その他	4	6
営業外費用合計	775	818
経常利益	3,874	2,743
特別利益		
固定資産売却益	—	22
投資有価証券売却益	—	36
受取補償金	3	55
その他	32	—
特別利益合計	35	113
特別損失		
固定資産売却損	36	36
固定資産除却損	94	67
減損損失	22	564
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	177	—
災害による損失	327	3
その他	206	59
特別損失合計	865	732
税引前四半期純利益	3,045	2,124
法人税、住民税及び事業税	1,790	1,194
法人税等調整額	△575	△252
法人税等合計	1,215	941
四半期純利益	1,830	1,183



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	3,045	2,124
減価償却費	646	705
のれん償却額	76	76
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	53	△24
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	41	161
受取利息及び受取配当金	△229	△226
支払利息	241	202
減損損失	22	564
固定資産売却損益 (△は益)	36	14
固定資産除却損	94	67
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	177	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△36
売上債権の増減額 (△は増加)	△213	△173
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△509	△507
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,107	2,516
その他	1,521	294
小計	11,113	5,761
利息及び配当金の受取額	229	149
利息の支払額	△277	△201
法人税等の支払額	△1,367	△993
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,698	4,715
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△579	△507
有形固定資産の売却による収入	14	45
資産除去債務の履行による支出	△21	△32
投資有価証券の売却による収入	—	189
敷金及び保証金の差入による支出	△133	△78
敷金及び保証金の回収による収入	786	608
その他	△61	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	5	173
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,157	△1,661
長期借入金の返済による支出	△8,610	△1,372
社債の償還による支出	△275	△275
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△69	△121
配当金の支払額	△329	△332
自己株式の取得による支出	△0	△421
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,441	△4,183
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△737	705
現金及び現金同等物の期首残高	3,908	1,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,170	2,447

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。